

高田短期大学通信

高田短期大学通信 第56号 2021年(令和3年)6月9日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会

雑草

学長 梅林 久高



今年には新型コロナウイルスの

変異株の広がりにより危機的状況になってきています。コロナ禍の影響でアウトドアや園芸などが人気上昇しています。私も茶花・山野草・蘭などの栽培を趣味としています。この時期は、水やり以上に雑草を取り除くのが一苦勞です。今、ホームセンターには、種々な除草剤が山積みになって販売されています。この光景を見ると多くの人が雑草にはほとんど困っているのでしょう。

そこで雑草について考えてみたいですが、雑草は雑学・雑談・雑言・雑巾・雑煮などの語句があり、その雑には「まじる・いろいろなさまざまな」との意味で使用され、草には「上等ではない」との意味があります。勿論、漢方では

ドクダミに代表されるように、生薬として有用性の高い草もありますが、生活にはあまり好ましくない植物扱いなのでしょう。辞書によれば、自然に生えるいろいろな草、農耕地で目的の栽培植物以外に生える草とあります。

鎌倉時代の曹洞宗の開祖の道元禪師は『正法眼蔵』の中で「花は愛惜にちり、草は棄嫌におふるのみなり」と説かれています。花の愛する心があるから花が散れば惜しまれ、生い茂る草を嫌う心があるから草は、茫茫と生い茂るのであると。草を排除し嫌う。これは私たち人間の自己中心性によるのでしょうか。

雑草の初見は、今から二千年以上前の中国の歴史書の『漢書』の西域伝にあります。罽賓(けいひん)・北部分カシミールの地の国名)は「地平温和、有目宿雑草・奇木・檀懷梓竹漆」として記述されています。国の大は平で温和で目宿(めしゆく)や雑草・奇木・紫檀や高木の懷(かま)の木や梓・竹・漆などがあり、さまざま草で緑豊かに覆われ

ている国と書かれています。

十九世紀のアメリカの哲学者エマーソンは「雑草とはその美点はまだ発見されていない植物である」との名言を残しています。自分の価値を発見していない人は、あるがままに目を向ければ、自分の存在や命がいかに尊い存在であるかを発見し、理解することを経験的に語っています。

また、日本中を自分の足で探訪し、それぞれに花を咲かせ、実をつける植物に名前を付け続け、日本植物学の権威となった牧野富太郎博士の言葉。「雑草という名の草はない」。本当に全ての植物を愛し、科学的に観察・研究し、自然界ではどんな植物もなくてはならない存在であるとの金言の言葉を残しています。雑駁な内容となりましたが、コロナ禍の中で、繁茂し、勢い成長する雑草やその小さな可憐な花を見つめつつ、改めてその生命力の強さを日々の生活の中で活用したいと思う昨今です。

目次

学長のことば	1
学科紹介	
・子ども学科	2
・キャリア育成学科	
・オフィスワークコース	3
・介護福祉コース	4
学生生活 学生生活支援	
・キャリア支援センター、	
学生相談室	5
・学生自治会、部活動の紹介	
(女子バレー部、女子サッカー部、	
外国人留学生支援室、	
新型コロナウイルス対策	6
・卒業式・入学式、本山参詣、	
新入生研修、山を拓いて	7
地域連携施設等	
・仏教教育研究センター、	
育児文化研究センター、	
図書館	8
・キャリア研究センター、	
介護福祉研究センター、	
高大教育交流事業	9
・着任、人事、お知らせ、	
同窓会の近況	10
・卒業生からのメッセージ、	
貸借対照表	11
就職状況、編集後記	12



今を愛しむ



子ども学科長
福西 朋子

青空に歌うように桜咲く中、高田本山に新入生が笑顔で集い、令和三年度が始まりました。恒例の本山参詣のすがすがしい昨年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止、それ故に今年には彩りある時として刻まれました。

昨年度は「予定」「計画」通りに事は運ばなかったものの「今できること」の中で工夫して行い新しい発見をしたり、「今できたこと」のかけがえのなさを感じたりすることができました。

学生生活は二年間ですが、日にしたら七〇〇日以上、時間にしたらもっとあります。時を過ごす主役は自分です。今をどう過ごすのか、この時をどう判断して行動するのか、周りの状況をキャッチしながら、今ある環境の中で、自身の蓄えた知識とスキルを存分に使える日々を「愛しみ」ながら積み重ね、自身を更

活動報告

野外体験活動

一年生のゼミナール活動として、全ゼミが焼き芋とみかん狩りを楽しみました。梅林学長のご指導の下、大学裏山から焼き木を拾うことから始まり、火を熾して芋を焼きました。火の作り方と芋がふくら焼ける時間やコツをつかみました。みかん狩りは、大学に隣接するみかん畑地主様の善意により行わせていただき、もぎたてのみかんの匂いと味を堪能しました。

保育の場における事例研究

二年後期の「保育・教職実践演習（幼稚園）」は、保育者養成課程におけるまとめに位置づく科目です。従来から近隣の幼稚園や保育園に事例の記録を目的に見学実習を行っ

今後の学校生活について



子ども学科二年
濱上 椎楠

大学生になり一年が経ちました。新しい環境にも慣れ、実習を重ねるごとになりたい保育者像を持つこともできました。しかし、依然として新型コロナウイルスは収まらず中々思い通りに進まないことも多いです。実習ではおむつ交換や食事介助など感染対策として体験が出来な

ていますが、昨年度は自粛をしました。その代替として教員が保育の場に出向き、いくつかの場面を動画撮影、視聴教材を制作、学生はそれにより事例研究を行いました。動画であるため何度も場面を見返すことで自分なりの見方ができ、考えを深められるところに学生も教員も新しい学びの方法として捉えました。

教育・保育実習

保育者養成は学内での学びと学外での実習、これが両輪となっており、昨年度は感染防止のため実習の代替授業が認められる事態となり、本学も実習実施にはかなり慎重になりました。結果的には、全実習を完遂することができましたが、受け入れていただいた実習園様への感謝とともに、実習の価値を再認識した機会となりました。

隔授業が始まりとても慌ただしい一年間を過ごしました。頑張った支援をしてくださった先生方にはとても感謝しております。

二年生は就職活動も始まり、一年生の時より忙しい日々を過ごすことになりました。つまり限られた時間でのごし方が今後の就職活動や保育現場での活動に大きく影響していきます。そのため気を引き締めてコロナ禍の学校生活を過ごし、無事に卒業したいと思えます。



地域子育て支援拠点の構築

子ども学科 榎原 尉津子

私は、縁あって県内外の保育者養成校の先生方と共同研究をしています。二〇一八年には、NHK番組アーカイブス学術利用トライアルに採択され、NHK博物館（東京）に於いて、先生方と番組「すくすく子育て」の二〇〇三年の放送開始から二〇一八年までの全六七回の放送を調査しました。番組を見ながら視聴者の質問をひろい、子育ての常識や子育て世代の関心事の変化を分析するとともに、時代背景、乳幼児の事件・事故の視点から養育者

の関心事について検討を進めました。子育て世代が抱える悩みには、一般的な子育ての方法よりも子どもや母親自身のことを個別に相談する機会を求めており、専門家に話しをすることで不安解消に繋がることがわかりました。また質問内容によっては、専門家ではなく、子育て経験とエネルギーのある祖父母世代がアドバイスをすることで、不安や困りごとの解決に繋がることがわかりました。お互い世代間ギャップを感じながらも母親は祖父母の協力を必要としていることも明らかとなりました。今年度は、科学研究費の助成を受け、祖父母世代による地域子育て支援拠点の構築の実現に向け、共同研究支援活動を進めて行きたいと考えています。

高田短期大学に入学して



子ども学科一年
橋本 梨央

新型コロナウイルスの影響により入学式が行われるか不安もありましたが無事、新しい仲間とともに高田短期大学に入学することができたことをとても嬉しく思います。しかし友達と会話しながら昼食をとるなど思い描いていた学校生活を送ることは難しいですが、オンライン授

業ではなく学校で先生方から直接授業を受けることができていく環境に感謝しながら一日一日を大切に充実した生活を送りたいです。また、これからは講義型授業だけでなく実習など実際の保育の現場に最も近い形で学ぶ機会が増えるため、一つ一つの経験を大切に様々な技術・知識を身に付けていけるよう努力していこうと思います。同じ夢を持った仲間と支え合い、将来に向けて充実した二年間を送れるよう頑張っていきたいです。

キャリア 育成学科 オフィスワークコース



コロナ禍での就職活動



キャリア育成学科
オフィスワークコース長
野呂 健一

今春卒業生の就職活動は新型コロナウイルスの影響で、合同説明会が中止になったりWeb面接が行われたりと従来とは様変わりしました。近年、少子化を背景とする人手不足の影響で売り手市場が続いていましたが、昨年度はコロナ禍が直撃した業界を中心に採用減に踏み切る企業が見られ、全国的に短大生の内定率は低下しています。

本学においてもコロナの影響が心配されましたが、ゼミナール教員やキャリア支援センターの支援のもと積極的に就職活動を行い、最終的には100%の就職率を達成しました。生涯に渡っての働き方を考えるキャリア教育や、オフィスの専門能力だけでなく汎用的スキルを養成する本コースのカリキュラムでも求められる人材として社会に出ていくことを期待します。

活動報告

社会体験実習反省会

オフィスワークコースの一年生は、授業の一環として夏休みに様々な事業所で実習をしています。昨年もコロナ禍の中にもかかわらず、多くの事業所に学生を受け入れていただきました。十月には実習先からご担当者様をお招きし、反省会を行いました。代表学生が業務内容や身に付けた力、今後の目標について報告し、その後ご担当者様から働くうえでのアドバイスをいただきました。実習と振り返りを通して、学生は一回り成長することができました。



二年生になって



キャリア育成学科
オフィスワークコース二年
福山 陽菜

入学して一年が経ちました。昨年はコロナ禍の状況下、感染対策を徹底しながらの授業や資格取得、社会体験学習と忙しい一年でした。

学生生活の中では、特に資格取得に力を入れました。前期は遠隔授業が多かったので、慣れないことばかりでしたが、先生

春季就職特別講座

本格的な就職活動を間近に控えた一年生を対象に二月に春季就職特別講座を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年はオンライン開催となりました。午前の部では面接の際のビジネスマナーを学び、午後の部では面接対策講座を受講しました。コロナ禍の採用動向や対面とウェブ面接の違いなどについて学んだ後、小グループに分かれ、個人面接の練習を行いました。応募者役だけでなく、面接官役も行うことで、採用側の視点も体験しました。



高田短期大学に入学して



キャリア育成学科
オフィスワークコース二年
伊藤 希

入学してもう少して一か月程が経ちます。私は普通科の高等学校に通っていたので授業内容も環境も全てが新鮮に感じています。ノートパソコンを一人一台ずつ持ち、授業で活用したり、課題などで使用することで、オフィスワーカーを目指す大切な二年間としての自覚が持てます。

研究余滴



「新しい授業スタイル」には

「ICTの基礎」を

川喜田 多佳子

GIGAスクール構想も新型コロナウイルスの影響を受けて当初の二〇二五年から前倒しして始めるように積極的な施策がどんどん進められている。しかし実際の現場では「いざタブレットを導入したものどう使えいいかわからない」「実用イメージがつかない」など教員のICTスキル格差がボトルネックとなっているという報告がある。パソコンでの資料作成について相談を受けることが多い。作

成されたデータを見ると、高度な機能が組み込まれてはいるものの、ICT活用、アプリケーションソフトの基礎的な箇所の問題があることが多い。資料は文書構造を考えたレイアウトを考える必要があり、第三者にわかりやすく、使いやすいものでなければならぬ。加えて作業の効率化も重要である。ソフトウェアの基本を熟知した上で作業をしなければ完成まで到達できない。教員にとってパソコンは授業資料作成や校務に必要不可欠なツールである。

コロナ禍での「新しい授業スタイル」構築を機にICT基礎の学び直しをすることをお勧めしたい。Windows、MS-Officeの基礎固めは有意義な成果につながる。

新型コロナウイルスの影響でみんなの顔はマスク越しでしか見ることができず、昼食も友達と会話しながら食べることはできません。それでも新しい出会いと新しい環境に日々胸を躍らせています。短期大学は二年間という短い期間ですが、二年間をどう有効に使うかしっかりと目標を立て、楽しむときは楽しみやるときはやる。そんな充実した学生生活を送りたいです。

キャリア 育成学科 介護福祉コース



予測困難な時代を生きる力



キャリア育成学科
介護福祉コース長
中川 千代

今まさに将来の予測が困難な時代が到来しています。新型コロナウイルス感染症対策が始まり一年以上が過ぎ第四波に私たちは翻弄されています。世界全体が苦しい今、ウクチンが開発され明るい兆しが見えつつも先の見通しが立たない状況です。

新しい生活様式が少しずつ定着しマスク姿に全く違和感を持たなくなりました。介護福祉施設は利用者の命を守るため様々な工夫を講じ職員の方々は一般の人々以上に厳しいルールを強いられ相当なご苦労をされていることと思います。

こんな時代だからこそ学生たちには目的達成に必要な忍耐力・自己制御・熱意、他者との協働に必要な社会性・思いやり、自分の感情への対処としての自尊心・楽観性・信頼感などを育める環境が必要であり、私たちも環境作りに努めていきます。

活動報告

ゼミナールⅢレポート発表会

ゼミナールⅢでのレポート発表では、二年間の学びを集約し、各自が設定したテーマに沿って結果や考察までまとめ、報告します。今回代表に選ばれた九名の学生の中には、介護実習Ⅲで担当した利用者様の症状に焦点を当て、よりよいケアに繋がるよう考察を深めた内容や、留学生においてはスリランカやネパールなど、母国と日本の文化の違いや、母国の実情や課題について調べるなど多彩なテーマでの発表が行われました。学生同士、発表内容に関する質問が飛び交い、より深い学びに繋がる時間となりました。



一年をふり返って



キャリア育成学科
介護福祉コース二年
バンドリ アンビカ

この一年を振り返ると、大きな大学はコロナ禍で対面授業ができない状況が続く中、本学ではさまざまな対策をして登校して授業をできるように工夫していただいたため、私たち留学生はとても嬉しかったです。なぜなら留学生にとってはオンライン授業よりも対面授業のほうがわかりや

就職講座にて「卒業生講話から学ぶ」

介護福祉コース卒業生の岡ゆりさん（富田浜病院グループ施設勤務）から現在の勤め先での業務や利用者様との関わりなど経験談を語っていただきました。短大での学びが仕事で活かされた場面や、介護福祉士として勤務する中で改めて感じる介護の魅力についてもお話いただきました。卒業後の仕事のイメージが湧くような卒業生からの講話は、これから介護福祉士を目指す学生にとってより具体的にわかりやすく、熱心にメモを取っている学生もいました。卒業後にこうして短大で講話をしてくれる卒業生が増えることを教員としても願っております。



研究余滴



中川 千代

近年、全国的に介護福祉士養成施設での留学生の受入れは増加傾向にあります。ベトナム出身者が最も多く次いで中国、ネパールの順で令和元年度は二〇三七人（二十六か国）が養成施設に在籍しており、令和二年度の入学者のうち留学生が占める割合は三十四％となっています。本学も全国に先駆けて受入れ始め直近の二年間は留学生が占める割合は五十％を超えています。日本語の「聞く」「話す」はある程度できるため介護実習先の施設で

高田短期大学に入学して



キャリア育成学科
介護福祉コース一年
伊藤 大生

高田短期大学に入学をしてからもうすぐ一か月がたとうとしています。コロナウイルスの影響でピリピリとした状態が続いています。教室に入る際は必ず消毒をし、昼食の時間では指定された場所で黙食などをしております。凄く厳しい状況ではありますが、それぞれが感染防

の利用者や職員との会話は比較的小スミズであっても「読む」「書く」となるハードルが高く困難で、記録物を通しての情報共有には課題が多くあるのが現状です。

文化・生活習慣等の違いを理解した上、本学では介護の専門的知識・技術はもとより様々な方面のサポートを行い、卒業後日本で介護の仕事に就ける人材となつてもらえるよう指導しています。先且「富士の山」の歌を授業で紹介したら留学生だけでなく日本人の学生たちも知らないことがわかり、世代間のギャップをさらに実感し、留学生だけが特別ではなく若者と高齢者の接点をいかに創り上げるか、自分の世界を超えた人々にどれだけ思いを寄せられるかが鍵となると改めて感じました。

止に努め、各々が資格取得を目指そうと日々勉学に励んでいます。他にも、自治会の方々や先生方もコロナ禍でも皆さんが大学生活を楽しんでもらえるようなイベントも考えてくれています。二年間という短い間ですが、介護の知識・技術をしっかりと身につけ、介護福祉士の国家資格取得を目指していきます。一緒に学んでいく仲間たちと支え合いながら、充実した大学生活を送っていききたいと思えます。

キャリア支援センター

キャリア支援センター長 生駒 昌之

キャリア支援センターとは

キャリア支援センターは二号館玄関フロアの横にあります。進路相談や就職活動のサポートを行っています。また、就職や進学に役立つたくさんの資料があります。二年生はもちろん、新入生も気軽に訪ねてください。

スタッフ紹介

それでは、センター職員七人を写真により紹介します。

まず、左端が新任の宮崎信明先生。その隣が佐波睦巳先生です。ともに元銀行支店長であり、県内の企業や採用のことを熟知しています。その横が学部長を兼務する元公立高等学校長の生駒です。次に公務員試験の解説、指導ならお任せ、庶務担当の岡晃史先生。右隣が元公立高等学校長で、保育者の就職について知り尽くした十年目の大ベテラン、梶間稔先生です。その次に野崎千恵先生。CDA国家資格を持つキャリアカウンセラー兼アドバイザーで、一人ひとりに応じた的確な支援をさせていただきます。最後に新任の中森ちのり先生。高短OGで元公立保育園長。豊富な経験に基づく丁寧な支援をさせていただきます。

キャリア支援のために

私たちは皆さんに、就職活動を通して自分の将来や生き方について考えるとともに、生きるのに必要な力を身につけてほしいと願っています。その上で、一人ひとりに適した就職をと考えています。スタッフ一同、全力で皆さんをサポートしていきます。

ボランティア活動支援室

キャリア支援センターの東隣の部屋がボランティア活動支援室です。月、水、金曜日には杉谷哲也先生が在室され、アジアの子どもたちへの国際的なサポート等も含めて、皆さんのボランティア活動のお手伝いをしています。来室を待っています！



学生相談室



【保健室】

雷永 礼子

皆さんと一緒に新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取り組みを続けていきたいと思えます。●自分と周りの人の身体をコロナから守るために、一人ひとりが、いま自分が出来ることを考えて行動しましょう。

●毎朝の検温と体調確認を行い記録してもらっています。健康チェックの習慣を身につけましょう。

●免疫力を高めるためには、十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけましょう。

●手洗い、咳エチケットなどを続けましょう。

●三密にならないことを意識しましょう。

体調面で心配なことがあれば保健室に相談してください。

学生相談室 保健室は学生相談室の役割もあります。誰でも気軽に相談できる場所です。

誰に相談していいかわからないときや大学生活で困ったときは保健室を訪ねてみてください。

心や身体のことだけでなく、対人関係や将来のことなどで悩んだとき一緒に解決策を考えます。

相談内容によっては、カウンセリ

ング室や適切なサポート先を紹介いたします。

保健室直通電話 059-2531-7031

【ほっとステーション】

橋本 景子

今年度からは従来の『カウンセリング室』を、保健室のように誰でも入りやすい場所となることを目指して、『ほっとステーション』と名称を変更しました。

保護者や卒業後二年以内の方も教職員もご利用できます。

ストレスが溜まった時、簡単な心理テストで自分をチェックしてみたい時、誰かと喧嘩した時など、どんな時でも気軽に来てください。

友だちと一緒でも構いません。短時間でも大丈夫です。

この一年余はコロナ禍で不安を感じた方も多くいらっしゃると思います。臨床心理士である私たちもマスクが人々に与える影響の大きさというものを肌で感じた一年でした。

こういう時代だからこそ、何が正しいのか、どうすることが自分にとってベターなのかを自分で考え、情報は受け取りながらも、それはあくまでも「情報」として受け止め、最後には自分で考え、自己決定できる力をつけていくことがいかに大切であるかを痛感させられました。

情報や周りの人々に振り回されずに生きていくことが出来れば人生はとてもしんどくありません。もちろんそれはルールなど、ある一定のモラルを守った上で、自分勝手とは違います。

周りのことを気にして体や心が疲れたなと思ったら、ここに話に来てください。「話す」ことは「話す」ことに繋がり、重い荷物も二人で持てば楽になるのと同じで、心の中にあるものを誰かと分かち合います。そんな場所として「ほっとステーション」をご利用ください。

私たちは今、コロナという大変な現実から逃げることができませんが、それに対する私たちの考え方を考えることはできます。現実を変えられない時は、対処法を考え、考え方を変えることで未来を変えていくことも可能です。

「ほっとステーションで話す(放す)」ことで、これまで気づかなかつた自分の考え方の癖に気づいたりもします。「こんなくだらない話」なんて思わずに、なんでも構いませんので話し(放し)に来てみませんか。私たちは、あなたの人生の主役であるあなたに寄り添います。

部屋が空いていれば、まずはどんな所かふらっとお立ち寄りください。ここで話したことが外に漏れることはありませんので、安心してほっとひと息つきに来てくださいます。

お待ちしています。

学生自治会

こんにちは、高田短期大学学生自治会執行委員です。

三月に先輩方がご卒業され、本格的に自分たちの活動がスタートしました。新型コロナウイルスの影響でどこまで自治会活動ができるかわかりませんが、多くのことが制限されませんが、そのような中でもみなさんに楽しんでいただけるように自治会としての行事をできる限り開催したいと思います。有意義な短大生活を送れるように自治会活動に励みますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。



部活動の紹介

活気とやる気にあふれるクラブ活動

女子バレー部



東海一部復帰を目指して

女子バレー部監督 秋津 修
今年で創部六年目を迎えることができました。昨年度は、コロナの影響で一年間公式戦が全くできない状況でしたが、今年卒業した一名と現二年生七名が一部復帰を目指し必死に練習に励んできました。

本年度は、新入生六名を加え十三名の部員で四月末から始まる東海春季二部リーグに向けてチーム一丸となって一部復帰を目標に頑張っています。また私たちの大切な大きな目標である



女子サッカー部



活動六年目にあたり

女子サッカー部監督 宮本 ともみ

高田短期大学女子サッカー部は活動を始めて今年で六年目となります。高田高校女子サッカー部と合同で試合に参加し、三重県内のチームや東海地域の大学や高校との交流・チーム強化を行っています。

女子サッカーの地位向上に貢献できるよう活動してまいりますので、今後とも女子サッカー部へのご理解ご協力をよろしくお願いたします。



外国人留学生支援室

外国人留学生支援室長 金丸 博文

本学には、中国、ベトナム、ネパール国籍の留学生が在籍しています。外国人留学生支援室では、留学生の修学だけでなく、生活面など全般的な支援を行っています。チューターに相当する「留学生アドバイザー」に十六名を配置し、より細かい支援をしています。具体的にはアルバイト時間の管理、奨学金の紹介、日本語能力向上のための資格取得のサポート、生活用品の貸与、健康管理、他にも安心して日本で生活するための保険のサポートなどを行っています。また、定期的に留学生ミーティングを開催して情報交換をしたり、卒業した留学生との交流会を開催し、先輩方の貴重な経験談やアドバイスをもらえる機会を設けています。

また、経験豊かな日本語指導員二名を配置し、学業の学習支援を行っています。もし、周りに困っている留学生を見かけたら外国人留学生支援室に相談するよう案内してください。

今後とも留学生アドバイザーとなり、外国人留学生が有意義な学生生活を過ごし、卒業後は社会で活躍できるように努めていきます。

本学のコロナウイルス対策

新型コロナウイルス対策委員会 副委員長 野呂 健一

昨年度は新型コロナウイルス感染症防止対策に迫られた一年でした。年度当初、全国に緊急事態宣言が拡大されたことを受け五月末まで遠隔授業が中心となりました。その後も都市部を中心に多くの大学が遠隔授業を継続しましたが、本学では教育効果を重視し、十分な感染防止措置を取ったうえで、六月から面接授業を中心とする教育活動を行いました。今年度はほぼ面接授業でスタートしていましたが、「まん延防止等重点措置」の適用を受け、遠隔授業を一部導入しています。

本学の主な感染防止対策を紹介します。①学生には毎朝の検温と体調管理及び記録を求めています。②教室への入退室時に手指消毒を促し、消毒液を随所に配置しています。③当面の間、昼食は指定教室の指定席で黙食することとしています。このような対策により、現在のところ学内における感染は発生していません。今後も新型コロナウイルス感染症防止に万全の対策を講じてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

卒業式・入学式について

総務課長 藤山 真宣
令和二年度卒業証書・学位記授与式が、三月十九日(金)に挙行されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場には卒業生・教職員のみ入場可とし、来賓・保護者のご参加はお断りさせていただきます。

春らしい晴天に恵まれたこの日、卒業生は慣れ親しんだ学舎をあとにしました。

また令和三年度入学式が、四月二日(金)に挙行されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場には、入学生・保護者(二家族一名のみ)・教職員のみ入場可とし、規模を縮小して実施しました。

式典は仏式で行われ、入学生代表の焼香のあと、代表者による誓詞が述べられました。

子ども学科・キャリア育成学科あわせて二百八十三名の入学が許可され、大学生活がスタートしました。



本山参詣

仏教行事委員会
委員長 松山 智道

高田短期大学では、例年、午前中に入学式を終えた学生が、午後からは高田派本山専修寺へ移動して、合同参拝を行っています。数年前より、入学式に参列された保護者の方々にも、この本山参詣へのご出席を呼びかけております。

まず、同行した教職員も含め、全員が御影堂に入りますが、この御影堂は、宗祖親鸞聖人の木像が安置されているお堂で、平成二十九年には如来堂とともに国宝に指定されました。

入堂前、新入生には、入学式で代表学生に贈呈された「お念珠」が一人に手渡され、堂内ではお念珠の持ち方など、参拝作法が紹介されました。さらに本山から「高田山専修寺」と書かれたしおりも配られ、御影堂が七八〇畳敷という全国屈指の大御堂であるなど、本山諸堂の概略をしおりで知ることでもできますが、堂内では、本学の梅林久高学長から、本山の歴史、御影堂の詳しい説明があり、次に移動した如来堂でも、学長より如来堂についての話しを聞くことができました。



新入生研修

令和三年度の新入生研修が四月二十二日(木)に実施されました。各学科・コースで協力して活動し、親睦を深めました。



子ども学科



キャリア育成学科
オフィスワークコース



キャリア育成学科
介護福祉コース

こころ踊る場
山を拓いて

子ども学科長 福西 朋子

「ひみつきちにつれてってあげるね」と園児に案内されたところは大きな木の根っこだった。根っこがむき出しになり、ちようど子ども二、三人は、こそっと入れるスペースがある。山の斜面に位置づいているので、その中を滑ることもできたり根っこの上にもロープをかけて登ったりもできる。園児たちは歓声をあげながら飽きることなくそこで遊んでいた。一見すると危ない遊びと思うがその懸念はなく、むしろ子ども自身がその場に合わせて巧みに身体を使っていたり、次はどうしたらもっと遊びがおもしろくなるのかと、子ども自らが創り出す空間子どもの「こころ踊る場」と感じた。これは亀山市立加太保育園に視察に行った時の光景だ。亀山市と本学は昨年連携協定を結んだ。その協定内容の一つに「野外体験保育実践園との研究・交流」を掲げたが、その理由は二つある。

一つ目は、自然環境を活かした子育てや保育の価値が見直されていることだ。改訂された幼稚園教育要領や保育所保育指針において子ども主体の保育が強調され、自然保育における子どもの姿が着目されたり、昨今のコロナ禍においては過密な都市部での生活

や子育てよりも自然豊かな地方での生活、野外での活動やあそびが望まれたりしている。二つ目は、本学の保育者養成教育として、今後、自然環境を活かせる保育者の養成を特色の一つに掲げたい、ということだ。保育者になるための魅力ある学びの場、他大学にはできない教育を行い今後多くの保育者輩出に貢献したい。

そこで、一昨年から自然と保育者養成に関わる取組みを始め、前述のように県下の実践園への視察や育児文化研究センター所属の「たかたん自然保育研究会」を発足させた。そして昨年度末からは梅林学長のご尽力により、大学周辺の山を使うお許しを地主様にいただき、学生の実践の場、地域親子のあそび場にするべく山開拓に勤しむ日々を送っている。大学の食堂近くの森は、木を伐り青空が木立から見える場になった。場が開かれると人が集うようになり、人が集うとそこで行いたいことが次々に湧いてくる。学生とともに創り出す空間としたい。また学生たちの「こころ踊る場」になればと願っている。



仏教教育研究センター

センター長 松山 智道
当センターは、本学の建学の精神に基づき、仏教文化の護持発展を目的に活動しています。

その活動内容は、まず第一に、毎月一回、研究会を開催しています。現在は、高田派中興の祖である真慧上人が著された『顕正流義鈔』の研究を進めています。第二には、図書館に寄贈されている貴重な仏教関連図書および資料の整理と管理を行っています。

第三の活動としては、年に二回、「公開講座」を開催しています。地域の方々に仏教に触れていただく機会をご提供することを目的に、高田本山教学部との共催にて真宗高田派本山にて開



講し、多くの方々が受講されています。

第四の活動は、高田本山寄附講座として「仏教基礎講座」と「仏教専門講座」を開催しています。現在、「仏教基礎講座」は八月に五日間(毎日五講座)開講し、「仏教専門講座」は毎月一回(一日五講座)で年十回(十一回目が試験日)の講座となっています。両講座とも高田派の教師・布教使養成の講座であるとともに、地域に開放された地域貢献事業としての講座であり、一般の多くの方々が受講されています。特に「仏教専門講座」は文部科学省の「履修証明プログラム」として提供し修了者には学校教育法に基づく履修証明書が交付されるので、受講者の励みとなっています。



育児文化研究センター

センター長 青木 信子
本センターは、子どもの教育や福祉、子育て問題、児童文化等に関する研究を行うと共に、地域社会への貢献と連携を展開しています。今年度も地域との協働を大切にしながら特色のある活動を進めていきます。



*** 研究活動**
定例研究会やグループ研究により学内外の研究員が研究を進めています。その成果は「育児文化研究センター紀要」等により情報発信します。

*** 地域子育て支援事業**
「おやこひろばたかたん」では親子の交流・活動ができる場

を提供しており、親子・子ども同士・親同士がふれあえ、楽しく子育てについて互いに学べる場になっています。

おやこひろば、子育て講座、子育て相談の詳細については本学ホームページをご覧ください。



*** 学生支援事業**
地域の保育・子育て支援活動に参加する「子育て応援隊」や子育て応援サークル「たんたんクラブ」のボランティア学生に対して、実践が学びにつながるよう支援しています。

*** 地域連携子育て支援事業**
地域団体や行政との連携協働による子育て支援活動に参画します。

図書館



意外と面白い場所 II 図書館

図書館長 大野 照文
一号館一階にある図書館、入ってすぐにあるのがラウンジエリアです。ビジネスや育児はもちろん、映画やファッションまで、学科の勉強だけでなく、短大ライフの楽しみ方の参考になる雑誌や新聞がそろっています。また、DVDも鑑賞できます。

図書館ですから、もちろん蔵書も五万冊余りと充実していて、ニーズの高い本は、館内あちこちに置かれた本棚で手に取ることができます。

また、自宅や図書館内のパソコン、あるいはスマホを使ってネット上で五万冊の本を検索、図書館で実物を借りることができます。そのほか、図書館には、グループワークエリアやプレゼンテーションエリアがあり、対話しながらの学習やプレゼンの練習に活用できます。

さらに、図書館には学生さん達の集まり「図書館メイト」があり、図書の整理や写真展の企画などを行っています。購入図書の推薦もできます。あなたも図書館メイトになりませんか。
図書の閲覧から図書館メイトまで、図書館は意外と面白い場所です。ぜひ活用してください。

キャリア研究センター

センター長 中畑 裕之
当センターは地域を支える人材の育成・雇用・労働問題、地域活性化をテーマに調査研究や地域活動を行っています。

*研究活動

人材育成、雇用・労働問題、地域社会等に関する研究成果をとりまとめた、「キャリア研究センター紀要・年報」第七号を発行しました。

*連携事業

百五銀行・百五総合研究所との連携事業として「若手社員の採用定着 育成のためのパネル



デイスカッション」を開催しています。企業の採用担当者が採用や若手人材の育成にどのように取り組んでいるかのお話を伺い、学生から知りたいこと不安なことなど質問させていただき、その後デイスカッションを行いました。

津市・一身田商工振興会との連携事業では、令和元年度に学生が行った「一身田寺内町来訪者調査」の地域の方々への報告会を行いました。また、一身田商工振興会が立ち上げたインスタグラムを利用して、一身田寺内町の情報発信を行っています。

令和三年度は、二年度に開催できなかったパソコン講座などを八月に開催する予定です。五月下旬頃から募集を行いますので、ご興味あれば参加ください。



介護福祉研究センター

センター長 中川 千代

介護福祉研究センターは今年度で八年目に入り、地域福祉に寄与する機関として様々な事業を展開していくとともに、介護福祉、高齢者問題、障害者問題等に関する研究活動を進めています。卒業生の研究員も増えてきました。卒業生のリカレント教育の場としての役割も担っていきます。

◇研究活動

学内外の研究員が研究発表を行う定例研究会を今年度は七回予定しています。本センターの中心事業です。また、研究紀要「介護・福祉研究」第七号を三月に刊行しました。



◇介護福祉セミナー

第一回は六月二十六日(土)作業療法士会の永田様先生を迎えます。一般の方、福祉施設職員等が対象です。第二回は十二月十九日(日)に「カラーセラピー」を開催します。

◇高齢者を対象とした介護福祉啓発活動

地域の高齢者を対象として本学内や地域公民館等を拠点として介護を学ぶ学生達とともに交流しながら学べる場を提供します。

◇介護の未来を考えよう！作文コンクール

昨年度第一回を開催し県内各小中学校の児童・生徒から千百点の作品応募がありました。二十三人の受賞者が表彰されました。今後「文集」をまとめ第二回は夏に募集し、さらに充実していきます。



高大教育交流事業

入試広報委員長 山口 昌澄

本学では、平成二五年度より本学に多くの入学者がいる県内高等学校との高大教育交流事業を進めています。現在十五の県立高校、三重高校、皇學館高校と協定を結び、出前講座や本学での特別授業等の教育交流に取り組んでいます。また教育交流連絡協議会を開催し、高大接続に関する教育課題について意見交換を行っています。昨年度協議会では大学新入試について意見交換をおこない、今後の本学入試のあり方について貴重なご示唆を賜りました。

各高校・地域各所での出前講座や職業・進学ガイダンス等の教育交流については、協定校以外のものも含め、昨年度は計一二八講座を開催しました。

その他、昨年度は新たに受験生向けの「総合型選抜入試対策セミナー」を実施しました(コロナ禍によりオンデマンド方式にて)。今後の予定としては、オープンキャンパスを六月十二日(土)、七月十一日(日)、八月八日(日)、八月二十一日(土)、十二月十九日(日)、来年三月十三日(日)に開催します。

着任のみなさん



高田短大で
やりたいこと
図書館長
大野 照文

これまで大学や博物館で化石を研究していました。また、子ども達と化石を調べるワークショップも数回か行っています。高田短大では、皆さんがもっと活用したくなる図書館づくりをスタッフとともにめざします。また、図書館メイトをはじめとする学生さん達と、子ども達を本や勉強好きにするイベントも開催したく思っています。



一緒に楽しみながら
子ども学科
亀澤 朋恵

本年度より、子ども学科の専任講師として着任いたしました。子どもの造形表現に関する授業を担当いたします。図画工作や美術が苦手な学生でも、できるだけたくさん素材に触れ、造形表現を楽しめるよう努めたいと考えています。そして、造形表現の楽しさを子どもに伝え、一緒に楽しめる保育者になってほしいと願っています。よろしくお祈りいたします。



相手の思いに
寄り添って
子ども学科
権部 良子

本年四月に子ども学科特任講師として着任いたしました。幼稚園と小学校で長年勤務し、様々な親子と出会いました。そして、「相手の思いに寄り添うこと」が大切と気付く毎日でした。今回の保育者を目指す学生さんたちとの出会いを嬉しく思っています。相手の思いに寄り添える保育者を目指し一緒に学びましょう。



みなさんの輝かしい
キャリアのために
キャリア育成学科
日下 清佳

この度、キャリア育成学科オフィスワークコースに着任いたしました。キャリアデザイン、キャリアガイダンスなどの授業を担当させて頂きます。社会に出れば、大変な事がたくさんあります。だからこそ、学生さんには在学中から自律的にキャリアを形成していきける力身に付けてもらいたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。



お話しましょっ
キャリア支援センター
中森 ちのり

今年度よりキャリア支援センターに着任しました中森です。公立の園長として定年退職し、その後も市役所の福祉関係等の仕事に携わってきました。私が、これまでに培った経験をもとに学生の皆さんと就職や自分の将来について話し合う中で、少しでもお役に立てるようサポートしたいと思えます。よろしくお祈りいたします。



キャリア支援のために
キャリア支援センター
宮崎 信明

学生の皆さんは就職活動を始めるにあたって希望と一抹の不安を抱きながら、その活動を行っていることと思います。そう言った中で少しでも皆さんのお役に立てるようサポートできればと思っています。いつでも気軽に声をかけて下さい。そして、学生時代にしかできない有意義な生活を楽しんで下さい。



お知らせ

令和3年度
高田短期大学公開講座
「日本語とは
どのような言葉か？」
七月三十一日(土)
午後一時三十分～午後三時
「音楽と体操と
おしゃべりタイム！」
八月二十九日(日)
午前十時～午前十一時三十分
○お問い合わせ
高田短期大学公開講座係
みえアカデミックセミナー
公開セミナー
「災害は忘れたころにやってくる どうするその時」
八月二十二日(日)
午後一時三十分～
○お問い合わせ
三重県生涯学習センター

《人事》

○退職
子ども学科 教授 鷲見 裕子
子ども学科 講師 林 韓燮
キャリア育成学科 講師 岡田 一範
教学部長 岩間 知之
キャリア支援センター 小田 富彦
堀内 由香里
里中 久美子
生桑 崇

同窓会の近況

北端 一子
いつだったか、テレビを見ていた時に、「憂鬱」という漢字が書けるようになったと言っていました。早速、辞書で調べてみましたが、なんと難しい字で、夫婦で書いてみました。「憂」は、ニンベンをつけると「優しい」になる漢字と言いながら書いていたが「鬱」はなかなか覚えられませんでした。どうしてこんな漢字になったのだろうと不思議でした。どこにも行けない日のひとコマです。



同窓会の役員会が、なかなか出来ません。今年もどうなるかわかりませんが、早く終息に向かっていく事を願わずにはいられません。ワクチンを二回接種したらいいのかな？何パーセントまで接種したらいいのかな？今までの生活が、心に潤いをもたらしてくれていたことに気付きました。感謝です。

卒業生からのメッセージ

「保育者になって」



子ども学科
令和2年度卒
勢力 かな

①鳥羽市立あおぞら保育所②子ども達の笑顔や頑張って話そうとする姿に日々元気をもらっています。まだまだ慣れない環境の中で保育を進めていくのはとても難しいですが、他の先生に助けってもらいながら子どもの成長に関わっています。③誰からも信頼される保育者、子どもが毎日笑顔で登所できるような安心感のある保育者を目指します。④私にとって高短は、同じ目標を持つ仲間と辛いことや楽しいことなど色々な思いを共有しながら、励まし合い、共に支え合うことができた場所です。また、学生の夢を尊重し、それが叶う手助けを一生懸命してくれた先生方に出会えた場所でもあります。⑤手遊びやピアノ、教材など、子ども達と楽しめる引き出しをたくさん持ち、実習などで生かしていくと良いと思います。仲間や自分の夢を応援してくれる先生方と共に楽しみながら、夢の実現のために後悔しない学生生活を送って下さい。

「社会人として」



キャリア育成学科
オフィスワークコース
令和2年度卒
杉本 さくら

①三重トヨペット②同じ目標に向かって互いに高めあえる同期と出会えたことです。専門用語や知識など覚えることがたくさんありついていくのに必死で辛いこともありましたが、同期のみんなと一緒に乗り越えて助け合っていくことができるのでとても心強く、このつながりに感謝しています。③お客様の立場になって寄り添ってサービスをしていけるようなスタッフになりたいです。高短で学んだ「あなたでなければ」という言葉をいつも意識し日々取り組んでおります。④社会人になるための土台をしっかりと作ることができた場所です。授業もですが、一番近くにいてくれた先生方に出会えたことなど高短での日常が今につながっています。⑤今の日々を精一杯楽しんでください。たくさん笑って色々なことに挑戦して、失敗もして。きっとこれからの自分を支えていく糧になってくれると思います。

「介護福祉士になって」



キャリア育成学科
介護福祉コース
令和2年度卒
山本 莉菜

①富田浜老人保健施設 浜っこ老健②多くのご利用者様と出会い、接していくたびに「いつもありがとう。」と言って頂けることが嬉しいです。ほんの些細なことでも「ありがとう。」と言ってくださいます。その言葉は大切にすべきであり、丁寧な関わりや介助をしていきたいと強く思うことができます。③ご利用者様とそのご家族様に「この人なら安心して任せられる」と思って頂けるような、寄り添うことのできる介護福祉士を目指しています。④専門知識や技術、社会人としての姿勢を身に付けることができる場所です。今では高短で身に付けた力が必要となっているので、教えていただいたことに感謝しています。⑤今は、新型コロナウイルスの流行により、思うような学びができていないかもしれませんが、でも一つ一つの学びを大切に、吸収していけば大丈夫だと思います。学生生活も楽しんで頂けたらと思います。

- ① 勤務先・進学先
- ② 就職して嬉しかったこと、辛かったこと
- ③ 将来の夢
- ④ 高田短大とは
- ⑤ 後輩へのメッセージ

公 告 令和2年度における学校法人高田学苑の決算は次の通りですので、当学苑寄附行為第35条の規程に基づき公告致します。

貸借対照表 (令和3年3月31日)

学校法人 高田学苑 (単位: 円)

資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(7,993,972,017)	(8,305,175,465)	(△311,203,448)	固定負債	(248,468,308)	(257,329,216)	(△8,860,908)
有形 固定 資産	(6,472,242,165)	(6,722,055,532)	(△249,813,367)	退職給与引当金	248,468,308	257,329,216	△8,860,908
土 地	1,025,122,922	1,025,122,922	0	流動負債	(434,391,412)	(605,556,891)	(△171,165,479)
建 物	4,292,005,276	4,478,632,892	△186,627,616	短期借入金	0	199,999,999	△199,999,999
構築物	760,123,982	826,896,520	△66,772,538	未払金	59,096,844	38,272,705	20,824,139
教育研究用機器備品	108,537,162	124,952,866	△16,415,704	前受金	280,495,000	279,165,000	1,330,000
管理用機器備品	6,409,723	7,393,511	△983,788	預り金	32,885,968	25,355,465	7,530,503
図 書	228,706,748	227,204,113	1,502,635	修学旅行費預り金	56,256,160	56,652,172	△396,012
車 輛	21,416,874	1,933,230	19,483,644	卒業諸費預り金	5,657,440	6,111,550	△454,110
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	負債の部合計	(682,859,720)	(862,886,107)	(△180,026,387)
特定資産	(1,468,768,806)	(1,488,769,005)	(△20,000,199)	純資産の部			
退職給与引当特定資産	262,490,000	262,490,000	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
施設設備補充引当特定資産	1,206,278,806	1,226,279,005	△20,000,199	基本金	(12,877,399,386)	(12,654,353,423)	(223,045,963)
その他の固定資産	(52,961,046)	(94,350,928)	(△41,389,882)	第1号 基本金	12,705,399,386	12,482,353,423	223,045,963
借地権	2,257,500	2,257,500	0	第4号 基本金	172,000,000	172,000,000	0
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	繰越収支差額	(△4,995,508,584)	(△4,760,183,773)	(△235,324,811)
施設利用権	284,760	355,950	△71,190	翌年度繰越収支差額	△4,995,508,584	△4,760,183,773	△235,324,811
ソフトウェア	968,470	547,560	420,910	純資産の部合計	(7,881,890,802)	(7,894,169,650)	(△12,278,848)
有価証券	42,977,136	80,070,136	△37,093,000	負債及び純資産の部合計	(8,564,750,522)	(8,757,055,757)	(△192,305,235)
差し入れ保証金	350,000	350,000	0				
長期前払金	4,837,200	9,483,802	△4,646,602				
流動資産	(570,778,505)	(451,880,292)	(118,898,213)				
現金預金	328,253,006	303,527,842	24,725,164				
未収入金	141,723,507	55,097,116	86,626,391				
前払金	91,212	242,712	△151,500				
立替金	38,797,180	30,248,900	8,548,280				
修学旅行費預り資産	56,256,160	56,652,172	△396,012				
卒業諸費預り資産	5,657,440	6,111,550	△454,110				
資産の部合計	(8,564,750,522)	(8,757,055,757)	(△192,305,235)				

就職先等一覧

子ども学科

◆私立保育園

旭ヶ丘保育園、石樽保育園、いそやま保育園、嬉野保育園、えがお保育園、えがおあけぼの保育園、尾鷲第4保育園、上浜保育園、神戸保育園、岸田保育園、公園西保育園、光陽保育園、さくら保育園、志登茂保育園、清泉愛育園、第二しまの杜保育園、第二はなこま保育園、たいよう保育園、高田保育園、多気の杜ゆたか園、つくし第二保育園、つばみ保育園、豊野保育園、ながさわ保育園、ハートピア保育園、はなこま保育園、久居保育園、ひので保育園、日の本第二保育園、ぼだいじーRORI園、松阪仏教愛護園、三重愛育保育園、みぞら保育園、みどり保育園、山室山保育園、わかすぎ第三保育園

◆私立幼稚園

あおい幼稚園、エンゼル幼稚園、大川幼稚園、津西幼稚園、道伯幼稚園、ふたば幼稚園、まつさか幼稚園、みずきヶ丘道伯幼稚園

◆私立こども園

亀山愛児園、こどもの杜ゆたか園、サン認定こども園、第2明和ゆたか園、高岡ほうりん認定こども園、長寿認定こども園、津カトリックこども園、ぼだいじこども園、マリアこども園、みらいの森ゆたか園、ゆい保育園

◆公立保育園

伊賀市立さくら保育園、鈴鹿市立西条保育所、津市雲出保育園、鳥羽市立あおぞら保育所、鳥羽市立安楽島保育所、松阪市立春日保育園、松阪市立白鳩保育園、松阪市立つばな保育園、松阪市立西保育園、松阪市立ひかり保育園、四日市市立笹川西保育園、四日市市立四郷保育園

◆公立保育園(臨時)

甲賀市甲賀西保育園、松阪市立大河内保育園、四日市市立神前保育園

◆公立幼稚園

津市立みさと幼稚園、鳥羽市立かもめ幼稚園

◆公立こども園

松阪市立飯南たんぽぽこども園

◆公立こども園(臨時)

四日市市立楠こども園

◆施設

里山学院、児童養護施設なないろ、障害者支援施設こいしらの里、真盛学園、鈴鹿里山学院、聖マツテヤ子供の家、みどり自由学園

◆企業

泉おとなこども園科、(株)ホンダカーズ三重

キャリア育成学科

(オフィスワークコース)

◆建設業

(株)川崎ハウジング、(株)川崎ホールディングス、(株)佐野テック、林建材

(株)

◆製造業

(株)丸協食産

◆電気・ガス

朝日ガスエナジー(株)

◆情報通信

(株)サイネックス

◆卸・小売業

(株)ホンダカーズ三重東、(株)赤井薬局、(有)アルパ、コパン、(株)スズキ自販三重、刀根菓子館、中北薬品(株)、ネットトヨタノヴェル三重(株)、ネットトヨタ三重(株)、三重いすゞ自動車(株)、三重ダイハツ販売(株)、三重トヨタ自動車(株)、三重トヨペット(株)

◆金融・保険業

(株)三十三ファイナンシャルグループ、J A 共済連三重、(株)百五銀行、明治安田生命保険(相)

◆不動産業、物品賃貸業

(株)トヨタレンタリース三重

◆学術研究・技術サービス

百五不動産調査(株)、社会保険労務士法人 総合経営労務センター、中川雅久税理士事務所

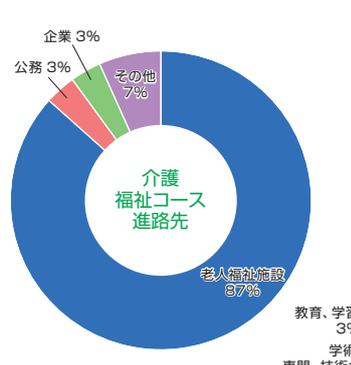
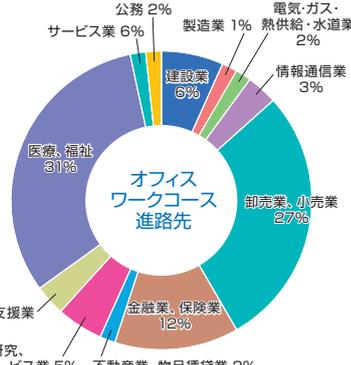
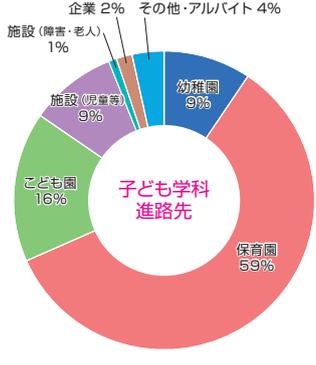
◆教育、学習支援業

(株)エイコス、(株)三重高等自動車学校

◆医療福祉

いたみ眼科、釜本医院、佐藤歯科医院、(株)ソラスト、(社福)高田真善会、たにぐち皮フ科、(医)同心会 遠山病院、(医)徳和会 岩間眼科、(医)白奉会

中嶋医院、七保診療所、(株)ニチイ学館、野町どい眼科、はくほうクリニック、日高クリニック、丸の内まつなが眼科、(株)ライフ・テクノサービス



◆サービス業

(株) パソナック

◆公務

松阪市職員(事務職)

キャリア育成学科 (介護福祉コース)

◆老人福祉施設

(社福)あけあい会、(社福)安全福祉会、(社福)永甲会、(社福)さつき会、(医)佐藤病院、(医)思源会、(社福)紫水会、(社福)慈童会、(社福)慈徳会、(社福)聖マツテヤ会、(社福)洗心福祉会、(社福)高田真善会、富田浜病院グループ、(医)白鳳会、(株)ライフ・テクノサービス、ヤナセメディケアグループ

◆公務

自衛官候補生

◆企業

(株)庭工房

◆編集後記

皆様のご協力により、高田短期大学通信第五十六号発行の運びとなりました。前年度から引き続き、コロナ禍に見舞われるなかでの原稿執筆依頼となりました。対面授業もつかの間、ふたたび遠隔授業対応に追われる慌ただしい日々の中、ご執筆にご協力を頂いたすべての皆様により感謝申し上げます。

※「高田短期大学通信」題字デザインは、キャリア育成学科オフィスワークコース卒業生の平井南穂さんの応募作品を元に作成しました。